

# 教育委員会事務局

## < 要求の基本的な考え方 >

幼児教育、義務教育、高等学校教育、特別支援教育、生涯学習の着実な推進

学校施設の耐震補強、施設改修等の計画的推進

一般会計要求総額 34,419百万円  
(対前年度 +2.9%)

	要求額(百万円)
— 主要事業 —	
新しいタイプの定時制高校設置事業	4 [総務部]
小中学校特別支援学級整備	30 [総務部・学校教育部]
豊明高等養護学校増築	358 [総務部・学校教育部]
特別支援教育巡回相談員配置モデル事業	37 [学校教育部]
奨学金支給	8 [学校教育部]
特別支援教育支援員活用事業	242 [学校教育部]
スクールカウンセラー活用事業	118 [学校教育部]
外国語指導助手関係	25 [学校教育部]
学校図書館地域開放事業	3 [生涯学習部]
未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	
日常の身近な暮らしの安心確保	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 15 [総務部]
災害に強い安全なまちの整備	学校施設改築事業 3,047 [総務部] 学校施設耐震補強事業 2,050 [総務部]

：新規事業      ：レバレッジ事業

## ● 特別支援教育のために

### 小中学校特別支援学級整備

障がいのある子どもたちが、できるだけ地域の学校で学ぶことができるよう、小中学校に特別支援学級を整備します。

### 特別支援教育巡回相談員配置モデル事業

通常の学級で学ぶ発達障がい等の特別な支援が必要な児童生徒への支援を適切かつ効果的に推進できるよう、巡回相談員の配置を維持します。

### 特別支援教育支援員活用事業

障がいのある子どもたちが、障がいの状況や程度に応じた適切な支援を受けることができるよう、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う特別支援教育支援員の活用体制を確立します。



## ● 安全・安心な学校づくり

平成21年3月竣工

### 改築事業

老朽化した北郷小学校などを改築します。



整備にあたっては、バリアフリー化や施設の長寿命化を図り、環境にも配慮した外断熱施工を行うとともに、地域開放を目指して利用しやすい教室配置とします。

## ● 支給対象者の拡充



### 奨学金支給

能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な学生・生徒等に奨学金を支給します。平成20年度は、前年度より100人程度の増員を見込んでいます。

## < 主な見直し項目(効果額) >

- ・一般事務費や学校管理費などの削減 88百万円
- ・学校整備費などの削減 23百万円